



## ニッポンクラウドワーキンググループ

# 設立十二周年 年度報告会





#### ニッポンクラウドワーキンググループ第11期活動報告会及び第12期の活動計画報告会

17:30 ~

#### 第11期活動報告会及び第12期の活動計画報告会

- ・会長のご挨拶
- -2022年度活動報告
- •2023年度活動計画
- サムライクラウド部会活動報告及び活動計画
- クラウドアプリケーション部会活動報告及び活動計画
- クラウドビジネス推進部会活動報告及び活動計画

会長 小堀 吉伸

部会長 野元 恒志部会長 尾鷲 彰一部会長 藤田 浩之

18:25~ 報告会締めのご挨拶

副会長 野元 恒志

19:00~ 11周年パーティ兼忘年会





# 2022年度(第11期)の活動報告 2023年度(第12期)の活動計画報告



2022年12月1日 ニッポンクラウドワーキンググループ





#### 名称

ニッポンクラウドワーキンググループ
NIPPON Cloud Working Group (NCWG)

#### 設立

2011年 11月1日 設立/活動開始

ニッポンクラウドワーキンググループ参加構成(2022年10月時点)

- ▶ メンバー企業 85社
- サムライクラウドサポーター 6人
- ▶ 協賛企業 19社





# ニッポンクラウドワーキンググループ 2022年度スローガン

# Beyond the Clouds 2022!

『クラウドケイパビリティを鍛え、ビジネスの相乗価値を最大化させる!』





### ▶2022年度の活動方針

ニッポンクラウドワーキンググループが、クラウドケイパビリティ(クラウドサービスを提供、利活用する能力)の鍛錬の場となり、多様な情報提供の機会と、各社の積極的意見交換の機会を提供することにより、各社のクラウドケイパビリティの向上へ繋げる。

また、クラウドビジネスの価値創造だけでなく、クラウドビジネスの変化・機微に迅速的確にビジネス 価値を追随させることで、

<u>流動的価値</u>を<u>持続的価値</u>へ変えることを目 的とする。





## ケイパビリティ(Capability)

- ▶ 高い品質や迅速なスピードなどライバル企業よりも優位に立てる能力
- > 企業全体が持つ組織的な能力

# >企業が得意とする能力

- ➤ 企業成長の原動力となる組織的な強み能力
- > 他社との差別化を図り持続的に競争に勝つ能力

クラウドケイパビリティ 『企業が得意とする<u>クラウド提供能力</u>お よびクラウド利活用能力』





### ▶2022年度の活動方針

結果として、各社の持続的価値の掛け合わせ(相 乗)による

- クラウドサービスの利便性の向上
- 日本のクラウドビジネスのマーケット 拡大

へ繋げ(結)、日本から発出するクラウドビジネスモデル=サムライクラウドの質(実)の向上と提供価値の最大化を目指す。





# サムライクラウド

- ✓ 日本から発出するクラウドビジネス モデルの構築を意義としての「サム ライクラウド」
- ✓ IDやアプリケーション、UI、DATA連携など日本から発出できるクラウドサービスの技術的意義としての「サムライクラウド」





# グランドクラウド構想

✓ サムライクラウドの理念を基軸に、 ニュートラルな立ち位置から、あま ねくクラウドサービスの技術的ビジネ ス的連携を実現し、全てのクラウドサ 一ビスを統合的に利用可能とするこ とで、あらゆる利用者にとって高い価 値と利便性をもたらす





### > 会の在り方として

ベンダーニュートラルな立ち位置だからこそ可能な活動によるグランドクラウド構想の促進およびクラウド全般のユーザー利用のための利便性の向上とクラウドサービス提供クラウドの利活用の促進に努める。

さらに会の活動を通して、会員各社の"知らない"ことによるクラウドビジネスの機会損失の防止に努める。

また、会の規模については、質を高めながら引き続き緩 やかな拡大を目指す。





### 2022年度活動概要

- 1. 安心安全な会合および部会開催、ならびに参加者各社の紹介セミナーの実施、およびクラウドビジネスイベントの開催
- 2. 部会活動を中心に『サムライクラウド』の具現化とその利活用を図る
- 3. 積極的な『協賛支援セミナー』の開催支援
- 4. 会合およびセミナーの録画配信による、機会損失の防止
- 5. 他団体との積極的な交流による活動支援、および、クラウド の利活用を核に、異業種団体とのより積極的な交流による クラウドビジネスへの活動支援
- 6. サムライクラウドサポーターの拡充
- 7. アクティブメンバーシップの拡充
- 8. 理事会および実行委員会の開催





### 2022年度の実活動として

- ➤ 2021年度の報告会
- > 会合 1回(第66回)
- ▶ご協賛支援セミナー 4回
- ▶協業支援セミナー 1回
- ▶ クラウドビジネス協業支援セミナー 2回
- ➤ クラウドセキュリティーセミナー 1回
- > 各種部会活動





#### 2021年度活動報告会

【日時】 2021年11月17日(水)17:30~19:30

【会場】 オンライン開催

<第一部>

17:30~ NCWG活動報告及び本年度の活動計画

<第二部>

18:30~ パーティ(オンライン)







1. 第66回 NCWG会合

テーマ: 『クラウドケイパビリティとXR(クロスリアリティ) を融合してビジネス機会を広げる!』

日 時:2022年8月30日(火)17:00~18:00

懇親会 18:15~19:30

会 場:オンライン

テーマ: 『HoloLens活用事例とスマホAR』

株式会社ホロラボ Co-Founder, Director 株式会社システムフレンド 取締役 / Microsoft MVP 前本 知志 氏





#### (協賛支援セミナー)

- 2. 2022年2月28日
  NTTコミュニケーションズ株式会社主催
  テーマ:『クラウドケイパビリティをスパイラルアップ
  させて、新たなアイデアを創出する!』
- 3. 2022年4月27日 スリーハンズ株式会社主催 テーマ:『「with 3hands」によるクラウドケイパビリティ の創出と加速』





- 4. 2022年5月26日 株式会社アット東京主催 テーマ:『マルチ相互接続を活用し、クラウド ケイパビリティを鍛える!』
- 5. 2022年10月26日 株式会社リンク主催 テーマ:『クラウドケイパビリティをWAFで強化して クラウドサービスのセキュリティを守る!』





(協業支援セミナー)

6. 2022年3月23日

テーマ:『NFTの可能性を知り、

クラウドケイパビリティを鍛える!』

(発表: 株式会社イージェーワークス)

(クラウドビジネス協業支援セミナー)

7. 2022年6月22日

テーマ: 『ボトムアップ型クラウドビジネスアライアンス』

(発表: 株式会社ドヴァ)

8. 2022年7月25日

テーマ: 『トップダウン型クラウドビジネスアライアンス』

(発表: 株式会社アルティネット)

(敬称略)





(NCWGクラウドセキュリティーセミナー)

9. 2022年9月29日

テーマ: 『最新のセキュリティ事情を知って、

クラウドケイパビリティを鍛える!』

(会場・発表: アクロニス・ジャパン株式会社)





#### ハーフコンテナに収容した小型データセンター見学会 (KDDI株式会社)

#### 【日時】2022年4月27日(水)13:00~15:00

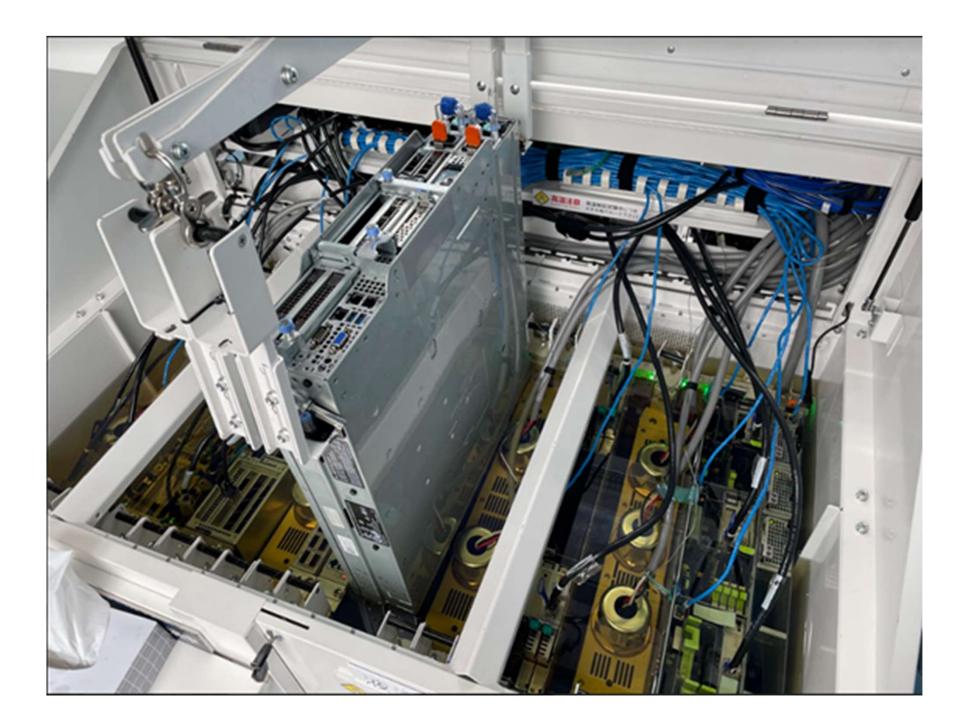
【場所】Yokohama Hardtech Hub

液体液浸冷却装置を活用したサーバー冷却収納コンテナの小型データセンター検証実験見学会 2021年6月21日よりKDDI株式会社、三菱重工業株式会社、NEC ネッツエスアイ株式会社による地球環境保全を目的とした消費 電力削減および脱炭素化の取り組み事業







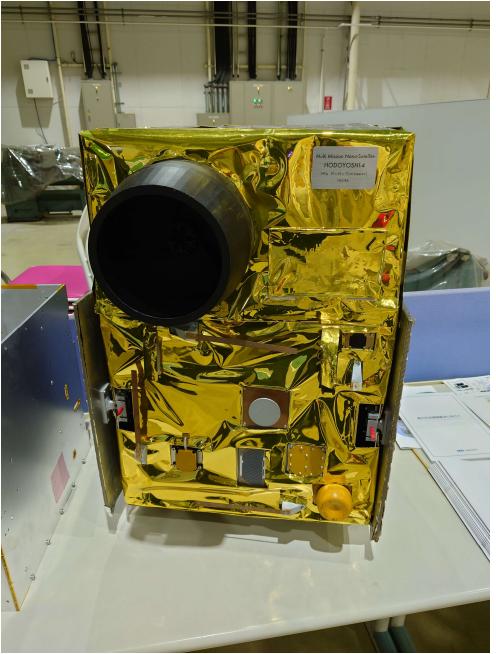






#### 参考画像(提供有限会社オービタルエンジニアリング)







#### 2022年度NCWG部会活動



### 2022年度の部会活動

- > サムライクラウド部会
- > クラウドアプリケーション部会
- > クラウドビジネス推進部会

活動報告及び2023年度の活動計画につきましては、各部会長より報告いたします。

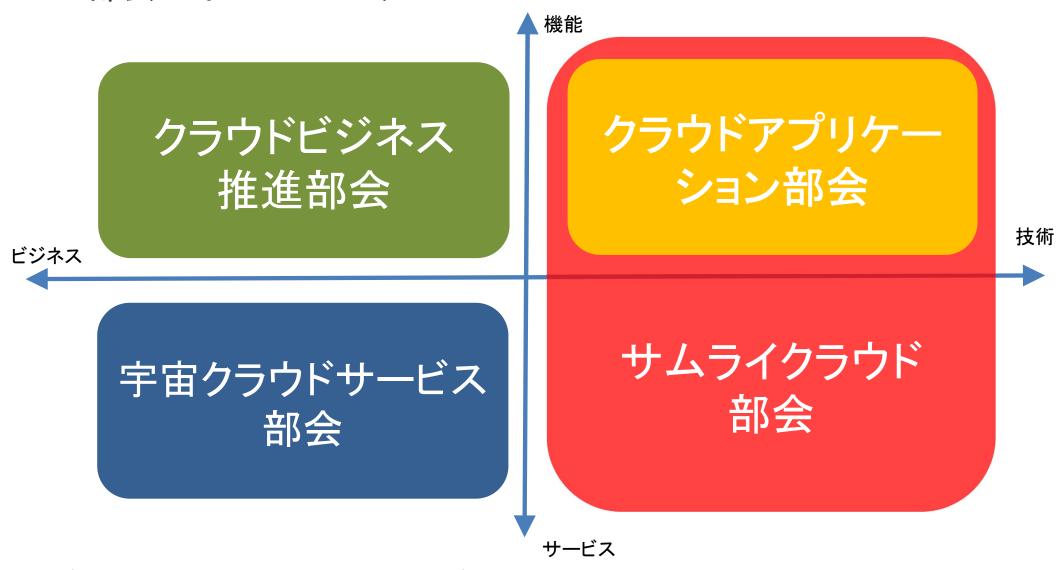
宇宙クラウドサービス部会につきましては、新型ウイルス感染状況状況を考慮して2022年度は活動休止しました。





### 2022年度の部会活動

■部会のポジショニング



※「ビジネス」と「技術」、「機能」と「サービス」の二軸から会の活動範囲を表出





#### 他団体との交流

### 後援活動として

- → 一般社団法人 日本インターネットプロバイダー協会主催の「JAIPA Cloud Conference 2022」への後援
  (2022年9月8日)
- ▶ NPO法人JASIPA主催 「JASIPA 協業フェア2022」への後援 (2022年10月26、27日)





#### 理事会および実行委員会開催

▶ 運営に伴う理事会および実行委員会の実施 2022年度についましては、オンラインで開催



### 2023年度(第12期)の活動計画



2022年12月1日 ニッポンクラウドワーキンググループ報告会





# ニッポンクラウドワーキンググループ 2023年度スローガン

# Beyond the Clouds 2023!

『クラウドケイパビリティをみがき、 クラウドビジネスの明日を創る!』





▶2023年度の活動方針 ニッポンクラウドワーキンググループが、 参画各社へクラウドビジネスのための「情 報」と「意見交換の場」を提供することで、多 様化するクラウドビジネス協業の土壌をつく る。

さらに、クラウドビジネスに有効なクラウドケイパビリティ(クラウドサービスの提供能力と利活用能力)の拡充を目指す。





## ニッポンクラウドワーキンググループとしての 「クラウドサービス」の定義

『インターネットを介して利用する経済的な価値提供機能』





# クラウドケイパビリティとは 『企業が得意とする<u>クラウド提供能</u> 力および<u>クラウド利活用能力</u>』

### ケイパビリティ(Capability)

- ▶ 高い品質や迅速なスピードなどライバル企業よりも優位に立てる能力
- > 企業全体が持つ組織的な能力

# >企業が得意とする能力

- ➤ 企業成長の原動力となる組織的な強み能力
- ➤ 他社との差別化を図り持続的に競争に勝つ能力





- ▶基本的な活動方針
- ・ クラウドサービスの利便性向上による クラウドビジネスモデルの価値拡大
- 日本のクラウドビジネスのマーケット の拡大

参加各社のクラウドケイパビリティの掛合せ相乗 効果(結)を基に、クラウドビジネスモデル(=サム ライクラウド)の質(実)の向上と価値拡大による 日本のクラウドビジネスの枠を少しでも広げること (結実)を目指す。





# サムライクラウド

- ✓ 日本から発出するクラウドビジネス モデルの構築を意義としての「サム ライクラウド」
- ✓ IDやアプリケーション、UI、DATA連携など日本から発出できるクラウドサービスの技術的意義としての「サムライクラウド」





# グランドクラウド構想

✓ サムライクラウドの理念を基軸に、 ニュートラルな立ち位置から、あま ねくクラウドサービスの技術的ビジネ ス的連携を実現し、全てのクラウドサ 一ビスを統合的に利用可能とするこ とで、あらゆる利用者にとって高い価 値と利便性をもたらす





### > 会の在り方として

ベンダーニュートラルな立ち位置だからこそ可能な グランドクラウド構想の促進とクラウドサービス全般の「 利便性の向上」と「利活用の促進」に努める。

さらに会の活動を通して、参加各社の"知らない"ことによるクラウドビジネスの機会損失の防止に努める。

会の参加構成については、基本的にクローズドでの 利点を活かすことで、参加各社のアクティビティと質を高 めながら、参加各社に有効なビジネス交流の機会を増や すことに努める。

会の規模については、引き続き緩やかな拡大を目指す。





▶ 2023年度役員および理事

会長 小堀吉伸(株式会社北斗システムジャパン)

副会長 藤田浩之(有限会社シェルンコアテクノロジー)

副会長 野元恒志(有限会社ディアイピィ)

理事 尾鷲彰一(株式会社オープンウェーブ)

監事 大澤武史(株式会社ブライエ)

事務局 尾鷲彰一(株式会社オープンウェーブ)

#### ▶各部会役員

- ■サムライクラウド部会 部会長 野元恒志(有限会社ディアイピィ)
- ■クラウドアプリケーション部会 部会長 尾鷲彰一(株式会社オープンウェーブ)
- ■クラウドビジネス推進部会 部会長 藤田浩之(有限会社シェルンコアテクノロジー)
- ■宇宙クラウドサービス部会 部会長 小堀吉伸(株式会社北斗システムジャパン)





#### NCWG組織図

### 総会

#### 委員会

- > 広報委員会
- ▶ アライアンス委員会
- ▶ 組織拡充委員会

研究部会部会長

会 長

副会長

理事会

顧問

監事

事務局

#### 研究部会

- ▶ サムライクラウド部会
- ▶ クラウドビジネス推進部会
- ▶ クラウドアプリケーション部会
- ▶ 宇宙クラウドサービス部会

実行委員会 (メンバー・協賛・サ ポーター)



## 2023年度実行委員



アクロニス・ジャパン株式会社	佐野 雄也/後藤 匡貴/ 石原 彩友美
株式会社アルティネット	宮原 哲也
株式会社オープンウェーブ	尾鷲 彰一
株式会社クオリティア	佐々木 泰
有限会社シェルンコアテクノロジー	藤田 浩之
株式会社DTS	木村 翠
有限会社ディアイピィ	野元 恒志
株式会社ドヴァ	井口 和彦/放生 浩一
株式会社ブライエ	大澤 武史/内田 龍/ 横手 広樹/水木 真一
株式会社北斗システムジャパン	小堀 吉伸
株式会社レイコム	大塚 宏紀

11社(17人)





### ▶ 2023年度活動概要

(すべての活動には、感染症対策への細心の注意を払う)

- 1. 会合および部会開催、各種セミナーの実施、クラウドビジネスイベントの開催、クラウドビジネス関連施設の視察イベントについては、リアルとオンラインでの「ハイブリッド」開催
- 2. 部会活動を中心に『サムライクラウド』の具現化とその利活用 の実施
- 3. 「協賛支援セミナー」および「クラウドビジネス協業支援セミナー」の開催支援
- 4. 他団体との積極的な交流による活動支援、および、クラウドの利活用を核に、異業種団体とのより積極的な交流によるクラウドビジネスへの活動支援
- 5. サムライクラウドサポーターの拡充
- 6. アクティブメンバーシップの拡充
- 7. 理事会および実行委員会の開催





- ▶ 2023年度会合及びセミナー開催について
- 参画各社によるクラウドビジネス協業促進のための場として会合を開催する。
- 開催にあたり、感染対策に注意を払いながらリアルとオンラインのハイブリット形態での開催を行う。
- 会合およびセミナー、講演会等の活動については、計年6回以上の開催を予定する。
- 各社の「強み」を積極的に表出させ、共有する。
- 単方向の情報提供だけでなく、双方向のコミュニケーションの場を積極的に企画・提供する。



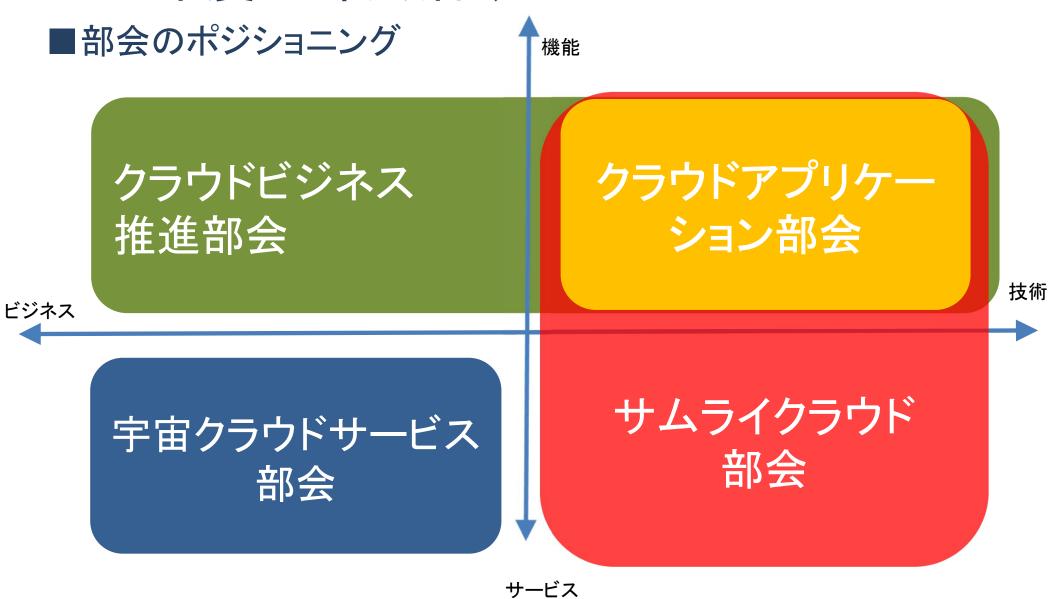


- ▶2023年度活動部会
- サムライクラウド部会
- クラウドアプリケーション部会
- クラウドビジネス推進部会
- 宇宙クラウドサービス部会
- ✓ 部会活動については、オンラインとの併用で定期的な活動を行いながら、何らかの成果としてのアウトプットを行う。
- ✓ 部会長連絡会や共同部会開催で密に連携を図り、より効率的に成果がアウトプットできるように努める。





### 2023年度の部会活動



※「ビジネス」と「技術」、「機能」と「サービス」の二軸から会の活動範囲を表出





## 部会報告及び活動計画

- > サムライクラウド部会
- > クラウドアプリケーション部会
- > クラウドビジネス推進部会





## サムライクラウド部会 活動報告及び活動計画

部会長 野元 恒志





### 2022年度の部内発表・主な議題

#### <議論>

- ZTA(ゼロトラストアーキテクチャー)提言に向けた準備と公開
- Log4j脆弱性問題
- SAML VS OpenID connectの話
- ゼロトラストのより突っ込んだ話(許認可についてなど)
- OAuth2.0のアプリ認可サーバの話
- QUICとHTTP/3の話
- PPAP問題の話
- ・ IT人材の話
- ウィルススキャンのシステムへの影響
- OVAL Interpreterについて
- ゴールデンSAMLの話
- SCAP 脆弱性情報ソースの話

ZTAガイドラインを公開致しました。ncwg.jpの報告書より、下記タイトルを御覧ください。

サムライクラウド部会『Zero Trust』成果報告書公開のお知らせ

#### 活動実績

▶ サムライクラウド部会 月一回 全11回開催





## サムライクラウド2023年度の活動

- SAML、OpenSocialをベースとしたビジネス活用のための研究開発の続行
- ・ZTA標準化の研究を行い、さらなる提言の公開
- ・ SAML、Oauthなどの認証基盤の具体的利用 例や、サービスに関しての評価議論
- ・ 将来の認証技術に関しての最新テクノロジー 評価





## クラウドアプリケーション部会 活動報告及び活動計画

部会長 尾鷲 彰一





## クラウドアプリケーション部会について

昨今では、クラウドの利用は、クラウドサービスとスマートデバイスや、他のハードウェアとの連携など、いわゆるIoT、AIへと発展しています。 例えば、水位の閾値を超えたらLINEで送るなど簡単に連携できるようになりました。

クラウドアプリケーション部会では、そういったクラウド関連の最新の技術の調査や検証から、実際にアプリケーションを開発するまでを行い、そこで得たノウハウを参加メンバー各社、また会合での成果発表などを通し、NCWGに参加しているみなさん各社のサービスに活用できるアウトプットを提供していきます。





## クラウドアプリケーション部会 2022年度活動報告

#### 【テーマ】

IoTのデータをAIする!

#### 【活動内容】

・雨量センサーのデータを餌に、AIを使って天気予報をします!

#### 【活動回数】

•年4回予定

※3月、5月、6月、9月に実施いたしました。

深層学習(ディープラーニング)で学習データを作って予測を行う方針で活動していました。



時間がかかりすぎ、できませんでした。

- ・学習用データの準備
- •深層学習



YouTubeで勉強しました。



すぐにAIできる時系列予測、BERT、SOUNDRAW などがあることが今期の活動でわかりました。





## クラウドアプリケーション部会 2023年度活動計画

#### 【テーマ】

AIで遊ぼう!

#### 【活動内容】

- ・時系列予測モデル: Neural Prophet 競馬の予想をする
- •自然言語処理:BERT
  TwitterでバズるTweetを自動生成してみる
- ・音楽自動作成: SOUNDRAW ニッポンクラウドワーキンググループのテーマ曲を作ってみる

#### 【活動回数】

- •年6回予定
  - ※3月、4月、5月、6月、7月、9月を予定しています。 リアルでの開催を予定しています。





# クラウドビジネス推進部会 活動報告及び活動計画

部会長藤田 浩之





## 活動指針

- 1. NCWGがメンバー相互の交流の機会を積極的に提供する
- 2. NCWGメンバー誰もが気軽に参加できる場を提供し、クラウドビジネスについての知の共有により、各社のクラウドビジネスを活発化させる
- 3. クラウドの様々な利活用方法を取り上げ、各社のクラウドケイ パビリティの向上に繋げる

結果としてクラウドサービスの利便性の向上と日本のクラウドビジネスのマーケット拡大に繋げ、日本から発出するクラウドビジネスモデル=サムライクラウトの質をみがき、スパイラルアップさせることで、新たな価値創造と価値向上を導く。





## クラウドビジネス推進部会 2022年度報告

### 『クラウドビジネスサロン』を計6回開催

第5回 2021年11月25日 開催

テーマ:「クラウドシフト ~最後に残る/残すシステム~」

第6回 2022年1月20日 開催

テーマ:「オンラインファイルサービスの活用」

第7回 2022年3月17日 開催

テーマ:「メタバースの未来と活用!」

第8回 2022年5月12日 開催

テーマ:「ブロックチェーンの未来と活用!」

第9回 2022年7月14日 開催

テーマ:「Web3(ウェブスリー)のクラウドビジネスへの活用!」

第10回 2022年9月15日 開催(ハイブリッド開催)

テーマ:「リアルタイムデータを視覚化し、クラウドビジネスに活用する!」





## クラウドビジネス推進部会 2023年度活動計画

引き続き、『クラウドビジネスサロン』をオンライン、または、ハイブリッドで、計6回開催いたします。

第11回 2022年11月17日 開催

テーマ:「RPAとリアルタイムデータ解析基盤を連携して、クラウドビジネスに活用する!」

第12回 2023年 1月17日 開催

テーマ:「Amazon Open Searchサービスを活用する!」

是非、どなたでもお気軽にご参加ください。





## Beyond the Clouds 2023!

『クラウドケイパビリティをみがき、クラウドビジネスの明日を創る!』



ニッポンクラウドワーキンググループ



### 本日のパーティ会場案内



